

第2学年通信

牛久市立牛久第一中学校

令和5年6月19日 NO. 4
文責 高村

「森林・林業体験学習」

未来を築くキャリア形成に向けた資質・能力の育成をねらいとして、6月6日(火)と7日(水)に茨城県民の森・植物園において、森林・林業体験学習を実施してきました。

生徒たちは、県民の森を散策しながら、専門家の方からの樹木や植物の詳しい説明を受け、「そうなんだ～、名前ぐらいは知っていたけど、気付かなかったな…」などの感想をつぶやきながら、真剣に聴き入っていました。また、午後からは林業についての説明を聞き、間伐材を自分で切ってコースターを作る活動も行いました。本体験学習が、社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等についての考えを広げ、深めて行くきっかけのひとつになることを願っています。

今回お世話になった、いばらき森林づくりサポートセンターの方々から、「話をきちんと聴くことができる明るい生徒さんたちですね」など、お褒めの言葉をいただきました。今後も、集団生活におけるマナーやモラルをさらに向上させ実践することを目指します。



<間伐材を運搬し活動準備> <熱帯植物園を見学> <新たな気付きの連続> <代表謝辞を述べる生徒>

【体験学習後の生徒の振り返りより(抜粋)】

- 林業は、木や植物などの自然を守る大事な仕事で、木を切って木材にするだけではなく、伐採した後に苗木を植え、長い期間をかけて育て森に戻すという循環を担い、私たちの生活の中で様々なことに役立ち支えになっていることを知ることができました。(山下さん)
- 今回、丸太を切る体験をしましたが、とても力が要りきつい作業でした。そのことも林業に就く人が減少している要因なのかもしれないと感じました。でも森林が整備されないと色々困ることがあるので、林業への理解が進み担い手が増えるといいなと思いました。(新田さん)
- 森林は私たちの生活にとっても役立っています。その森林を守っているのが林業。職業は人の役に立つためにあるもので、それが働く意味なのだと思います。(東郷さん)
- 今回学んだことは木や森と林業の大切さです。ガイドさんから「林業は木を育て森を守り、育てた木を切って売って売って仕事」と聞きました。大変そうだなと感じるとともに、そのおかげで地球温暖化を防ぎ、自分たちの周りにある木材料を生み出してくれていると思うととても素敵な職業だなと思いました。(坂下さん)

【7月の主な予定】

- 11日(火) 学校公開日
- 14日(金) 市プレゼンテーションフォーラム
- 20日(木) 夏休み前全校集会・大掃除
- 21日(金) 三者面談
- 24日(月)～27日(木) 三者面談



【お知らせ&お願い】

- ☆6月30日(金)は学年諸費の口座振替日となっております。ご準備の方よろしくお願いたします。
- ☆6月22日(木)は授業研修会のため、2年2組以外は13:40完全下校となります。15:00までは自宅学習。

「自分を大切に生きてために」 ～君は愛されるために生まれた～

6月9日(金)、講師として、陳 央仁先生(龍ヶ崎済生会病院 産婦人科医師)をお招きし、思春期講演会を実施しました。陳先生からは、発達段階に即した性に関する課題に対して、一人一人が真剣に考え、互いの性や命を大切にする考え方や判断力・表現力を培うための貴重なお話をうかがうことができました。今後も折に触れて性や命について見つめ振り返ることを通して、自分を大切にし相手を思いやる心情を育ててほしいと思います。今回の講演会で取り上げたテーマは、お子様が幸せな人生を送っていくために、とてもとても大切なことです。是非親子でも話題としていただければと思います。なお、本講演に関する保護者向けの資料もございますので、ご希望の方は、担任へお声かけください。



<本講演の内容より一部を抜粋して紹介>

思春期とは：本当の自分への変身期
青虫→(さなぎ)→蝶
脱皮やカラを破る時は、痛みを伴うけど、いい形で羽化できれば広い空が待っている。
親の性が愛を通して生み出した奇跡！

「愛」とは相手を大切に、尊重すること
「欲」とは相手の気持ちを無視しても自分を満足させること
→本当に愛し合っており、良い交際を続けたいと願うなら、守るべき一線は待てるのでは

SNS を介した児童被害件数 増加
援助交際や売春、性的暴行、恐喝等の温床
相手の顔(本当の姿)が見えない
メールでは好印象でも会ってみたら別人
執拗なつきまといや、いやがらせを受け
精神的ダメージ 早急に相談を！

[live と alive]
「ぼくは生かされている」でも
「生きているのはぼく自身だ」
あなたがそこに存在するという事実だけで、救われる人がたくさんいるということはどうか忘れないでほしい

【講演後の生徒の振り返りより(抜粋)】

- 私が今ここにいるのも、笑ってられるのも、両親が互いの人格を尊重し愛でつながっていたからだと思います。これからは、一分一秒を大切に生きたい。世の中には不平等なことがたくさんあるが、与えられた時を大切に生きる努力は誰にでもできるはず。私は、どれだけ長く生きたかではなく、辛いことも受け止めてどれだけ幸せに生きたかを大切にしたい。(田邊さん)
- 私はこの講演会を聴く前は、命の大切さがあまり分からなかった。でも、母親は命をかけて我が子を産むという話を聴き、私を産んでくれた母に感謝しきれないくらいありがたいと感じたし、もっと命を大切にしようと思った。また、生きたいけれど生きられない人もたくさんいるという話も忘れず、今元気で健康に過ごしていることに感謝したい。(久保さん)
- 私たちと年代の女性たちが性感感染症にかかってしまったり、望まぬ妊娠をしまったりしている現実を知った。私が生まれたのは本当に奇跡で、親に日々感謝して生きようと思う。またアシュリーからの「私が私らしくいることで、人を勇気付けている。」というメッセージをむねに、命を大切に私らしく生きていこうと思う。(馬場(希)さん)
- 私自身が自分の人生を幸せにするためにどう行動すればよいか?を考える良いきっかけになった。異性との関わり方においての大前提として、自分や相手が少しでも嫌がることはやらないことが大切だと思う。嫌な気持ちを自分でごまかすと、後に大きな後悔を招いてしまうかも知れない。その場の感情だけに流されず、後のことをきちんと考え行動していきたい。(見越さん)